

【節分・恵方巻き】

日本人には、無神論者が多いと言われますが、私も生活の中で神様を意識したことはありませんが、正月には必ず初詣に行っておみくじを引き、心の中で一喜一憂しています。なぜか50歳を過ぎてから神仏に興味が湧いてきています。

そこで今回は、二月（如月）の行事として節分と恵方巻きについて取り上げます。

「節分」 疾病・災害を鬼に見立てて冬の陰気を祓う。

「節分」の段取り

- ① 神棚に豆を供える
煎った豆を升か三方に入れて神棚に供える
- ② 鬼を追い出す。
玄関や窓を開けて「鬼は外」と言いながら外に向かって豆をまく。
- ③ 福を招く
玄関から家の中に向かって「福は内」と言いながら豆をまき、福を招き入れる。
- ④ 戸締りをする
- ⑤ 一年の健康と無事を祈り歳の数だけ豆を食べる。



「魚方巻き」

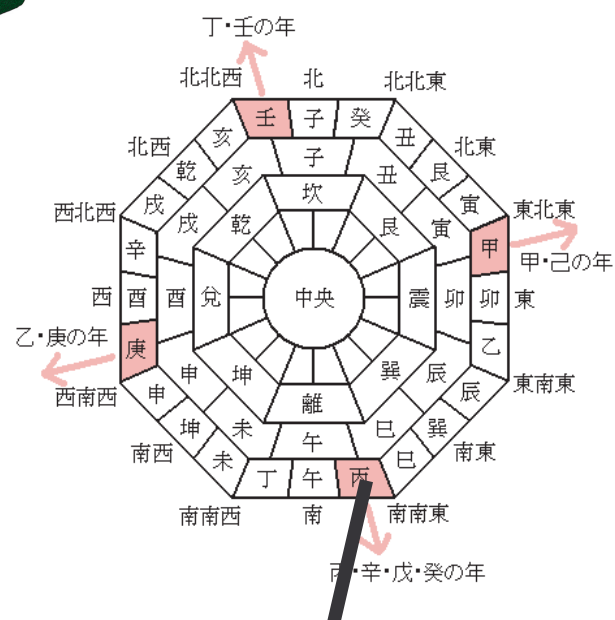
「恵方巻き」は、江戸時代末期大阪の船場で商売繁盛を祈願する風習として始まりましたが、一時すたれ1970年代後半に大阪海苔問屋協同組合が道頓堀で行ったイベントで復活しました。その後コンビニやスーパー販促イベントとして広がっていきました。

- 具 セ福神にちなんで7種類（きゅうり・かんぴょう・伊達巻・鰻（穴子）は必ず入っている）
- 巻く「福を巻きこむ」という意味があるらしい
- 丸かじり「縁を切らない」という意味
- 恵方 歳徳神がおられる方向



「恵方巻き」は、コンビニ等の戦略にのせられた感がありますが「恵方」と「歳徳神」にはしっかりした意味があります。

歳徳神(としとくじん)は、陰陽道で、その年の福德をつかさどる神さま。平安時代から信仰されていました。



今年はこの方向南南東
正確には北を0度した
場合165度

【私の今月の一冊】



生存者 ゼロ
安生 正

第11回「このミステリーがすごい大賞」受賞作この本は、私の好きなパニック小説です。未知の伝染病が発生したある海洋資源採掘現場の作業員が全員死亡しているところから始まります。単なるパンデミックではなくてもうひとひねりされたワクワクする出来になっていると思います。

シェールガス・メタンハイドレード等今まで人類が触れていない場所から
色々な資源を掘り出そうとしています。
こういうことは何千万年～何億年前に閉じ込められていたウイルスとか細菌を
現代によみがえらせる可能性があります。

【へえーそうなんだーと思えるニュース】

豆電球を点けて寝る人は「デブになる」光と体のメカニズムを奈良県立偉大が解明

こんなニュースが目につきました。ニュースによると、就寝する時、部屋が真っ暗だと眠れないので豆電球をつける人がいますが、その豆電球の明りが肥満につながる可能性があるという研究結果が発表されました。それは、光が体の生体リズムに影響を及ぼし、食欲が強くなったり、体に好影響を及ぼすホルモンのメラトニンが出なくなったりして中性脂肪が高くなる「脂質異常症」を引き起こす可能性があるということです。肥満には、体質や食生活などの様々な要因がありますが、睡眠時の生活習慣も関心と呼ぶことになるでしょう。